



出水市立 野田中学校

生徒数 103人
学級数 5クラス



《テーマ》

互いの人権を尊重し、自他を認め合う学校づくりを目指して

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究スケジュール
<p>一小一中という人的環境の変化が少なく、限られた人員で構成される学校環境において、より幅広く正しい認識に基づいた生徒の自尊感情の育成と健やかな人間関係づくりを図りたいと考える。また、本校の課題である不登校及び別室登校の生徒への対応、生徒・教職員・保護者の性的マイノリティへの理解と認識の高揚にもつながると考え、本テーマを設定した。</p>	<p>4月5日(火)職員研修（「陽だまり」の確認） 5月25日(水)男女共同参画出前授業（講師招聘） 6月21日(火)人権教室（生徒対象：講師招聘） 6月28日(火)全校朝会講話（人権擁護員） 7月14日(木)SOSの出し方教育（市健康増進課） 7月20日(水)スマホ安全教室・人権教室（生徒・保護者対象：講師招聘） 8月30日(火)職員研修（講師招聘） 11月11日(金)教育講演会(保護者対象：講師招聘)</p>

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

- **男女共同参画出前授業〔生徒・職員対象〕**
「性別に係る人権」を自分のこととして考えるきっかけづくりや「シジエカキタイム」を通して、性別に関わりなく一人の個性を実感的に理解する学びの時間となった。
- **人権教室**
年間を通して、生徒・職員・保護者に対して、対象者別に人権教室を実施した。生徒は、個人の思い込みや誤った知識等が偏見や差別につながることを学んだ。さらに、同じ言葉であっても意味が異なり、否定的な意味になる言葉があることにも気付くことができた。また、人権問題に対して、難しさを感じる傾向にあった保護者にとって、自分自身の子育てを振り返り、子どもと共に人権に関する理解を深め、真剣に向き合う意欲を醸成する機会となった。性的マイノリティについて正しく理解し、配慮すべき事項についても学び、実践意欲を高められた。
- **全校朝会講話**
講師（校区在住）は、これまで野田小学校でも定期的に人権教室を実施し、悩みの相談窓口や他者理解について講話を行ってきた。見守り体制による安心感を与える機会となった。



男女共同参画出前授業



人権教室〔生徒〕



全校朝会

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの姿、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 日常生活の中の場面を振り返り、自分のこととして人権について考えることができた。
- 保護者対象の人権教室の実施により、保護者・生徒が共通の話題で語り合う機会となった。
- SNS上の人権問題について、更に充実した内容の取組が必要である。
- 生徒自身が自分のよさや可能性を認識することや更なる自尊感情の育成が課題である。